

## 2023年度第2四半期決算・経営説明会 質疑応答（要旨）

---

- Q1：** Opal のメアリーベール工場の損益は、2024年、2025年でどのぐらいまで改善を見込んでいるのか。
- A1：** メアリーベール工場は、いろいろな取り組みを進めているが、市況の悪化などあって苦労をしている。固定費の削減に加えて、追加の施策に取り組み、2024年度、2025年度にかけて、少なくとも収支をとんとんに持っていくことが目標。
- Q2：** 上期の営業利益は49億円だったが、計画に対してどのように評価しているのか。また、通期計画ではセグメント別の内訳を変えたが、具体的にどのような考えで変えたのか。
- A2：** 5月時点の前提と比べると、原燃料価格の動向が落ち着いてきたことで、主に紙・板紙事業で上振れた。一方で、生活関連事業は厳しさが残った。  
通期については、紙・板紙事業の上期の上振れ分を見ているが、為替がこれまで135円／ドルだったものを150円／ドルで見ているので、その影響でマイナスになる部分がある。生活関連事業は、特に海外事業で厳しさが残るということで変更した。エネルギー事業については、釧路事業所で売価と原材料価格のギャップがなかなか縮まらなかった点を下方修正した。
- Q3：** 紙・板紙事業と生活関連事業の数量と売価の見方について教えてほしい。期初時点から変わった部分はあるのか。
- A3：** 紙・板紙については、数量減が期初の予想よりも大きくなったので、下期はその分を見ている。売価は値上げがきちんと浸透した。生活関連事業は、ケミカル事業での数量減はあるが、こちらも値上げがきちんと浸透した。
- Q4：** 業績が回復傾向にあるが、配当についてはどのように考えれば良いのか。また、PBR1倍割れが話題になる中で、今後、中計も含めてどのように改善させることで、PBR1倍などを目指していくのか。
- A4：** 中間配当については、財務基盤の強化を最優先と判断し、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただきます。期末配当については、現時点では未定としているが、今後の収益の出方など配当予想の開示が可能となった時点で速やかに公表したいと思う。  
PBRは、利益が出てこないと持ち上がらないと思っている。まずは、中期経営計画2025を達成することに尽きると思う。

- Q5：** 紙・板紙事業の営業利益は、第1四半期の2億円に対し、第2四半期では37億円と改善した。さらに下期は121億円に大きく改善する計画だが、これだけ利益の差が生じる要因を教えてください。
- A5：** 今期に関しては、上期から下期にかけて原燃料価格による影響がある。また、当社は、もともと上期に休転が集まっていて、特に第1四半期に集まっている。固定費の出方も含めて、下期に収益が出やすい傾向にある。
- Q6：** 下期の段ボール原紙の数量を前年比マイナス2%と見ているが、少し弱めに見ている理由を聞かせてほしい。
- A6：** 段ボール原紙は、足元のマーケットは決して強くないと思っている。それを踏まえて、下期の数量は少し固めに見た。
- Q7：** 家庭紙の収益性は、どこまで回復しているかを聞かせてほしい。円安で相殺され、まだ厳しい部分があるのではないか。
- A7：** 原材料のパルプは円安の影響を受けやすいが、この1年間で自製パルプの活用を進め、以前よりは円安の影響を受けにくくなってきた。この先の心配事は物流費や人件費といったコストの上昇。まずはコストダウンをしっかりとやるが、どこまで賄うことができるか。また、販売戦略が非常に重要になる。差別化と同時に、品質で買ってもらえる商品をどこまで打ち出すことができるかだと思っている。

以上

---

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

